

令和7年度静岡県立東部特別支援学校伊東分校

第1回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和7年6月10日（火） 午前10時～12時

2 場 所 静岡県立東部特別支援学校伊東分校
(〒412-0055 伊東市岡 1270-1)

3 出席者

<運営協議会員> 福西 正美 氏（伊東市立さくら園園長）【コーディネーター】
日吉 由季 氏（伊東市立伊東小学校 PTA）
安藤 健雄 氏（湯の花共栄会役員）
初鹿野 勲 氏（第4地区会長）
佐々木 剛 氏（元特別支援学校教員）
利田 亜弥 氏（東部特別支援学校伊東分校 P T A 会長）

<学 校> 佐々木 雅則（校長）
板垣 久 （副校長）
神戸 正輝 （小学部主事）【代理：湯川有貴（小学部副主事）】
内田 香津子（中学部主事）

4 日 程 (1) 委嘱状伝達・出席者自己紹介
(2) 令和7年度伊東分校の学校経営についての概要説明
ア 学校経営計画と取組状況について（副校長）
イ 各学部の経営について（部主事）
校内参観（10:40～11:00）
(3) 学校運営協議会及び学校関係者評価委員会等について
(4) コンプライアンス（法令順守）の取組について
(5) 質疑・提言

5 議事内容

(1) 委嘱状伝達・出席者自己紹介

・はじめに本校校長より会員に委嘱状を手渡した。その後自己紹介を行う。

(2) 令和7年度伊東分校の学校経営についての概要説明

ア 学校経営計画と取組状況について（副校長）

・副校長より令和7年度学校経営計画についての説明を行う。

今年度の重点取組目標は2つある。1つ目は児童生徒が安心して生活できるように学校環境の整備である。本校は山に囲まれており、地震や大雨などによる土砂災害の危険性が高い。毎月の校内点検では、複数の目で安全を確認し、報告するようにしている。また月1回の安全点検だけでなく、「校舎における危険個所」を予防的視点からチェックし、危機を未然に防ぐ取組

みも行っている。

2つ目は地域交流である。昨年度、小学部は伊東小学校と、中学部は北中学校との直接交流を行うことができた。今年度は、学校間交流だけでなく、地域交流を推進していきたい。新たな校地での地域とのつながりを考えていきたい。

イ 各学部の経営について（部主事）

- ・（小学部）本年度の児童数は26名で、12学級で運営を行っている。一日の活動の流れについては、登校後、日常生活の指導として連絡帳を出したり、着替えをしたりしている。生活単元学習では、国語、算数、理科、社会など教科の学習を基に、行事単元や校外学習を行っている。木曜日の4時間目に行っているニコニコタイムは、縦割り活動を行い、様々な学年の友達と交流を図っている。
- ・（中学部）本年度の生徒数は15名で、5学級で運営を行っている。小学部と同様、日常生活の指導や生活単元学習に取り組んでいる。中学部から作業学習にも取り組んでいる。縫製班、ビーズ班、紙すき班の3班あり、週2回、縦割りグループで学習に取り組んでいる。また引き続き、旭山学習にも取り組んで、地域の方々から学ぶ機会を設定している。

学校運営説明後、全運営協議会員より令和7年度伊東分校の学校経営について承認いただいた。

校内参観（10:40～11:00）

エ 校内参観後の質問や感想など

- ・（初鹿野氏）2年後には、北中学校が閉校となる見通し。今後の中学校の交流先は、地域から考えれば、南中学校や門野中学校が考えられる。必要があれば力になりたいと考えている。
- ・（日吉氏）初めて旧旭小学校に来た。豊かな自然に囲まれていて、とても良い環境だと思った。また教室も広く、オープンスペースもあり、子ども達は落ち着いて生活していた。中学部の作業学習は、細かい作業を、集中して取り組めていて、大変驚いた。小学部では、伊東小との交流の様子を見学することができた。どうしたら楽しく交流できるか、子どもたち自身でもよく考えているなと感じた。
- ・（安藤氏）以前、ビーズの看板をいただいた。今日作業学習を見学して、こうやって作っているんだと感心した。今後も商店街でできることに協力していきたい。要望があればぜひ言って欲しい。
- ・（佐々木氏）伊東市立西小学校時代に、3年間教諭として勤務をしていた。西小の時より、学校が大きくて教室が広くあるので落ち着いて生活している。教室間にあるトイレのカーテンが気になった。特に中学生はあのカーテンでプライバシーが保てるか心配である。あと、災害時に伊東市や近隣の小中学校との連携が取れているのかお聞きしたい。
- ・（副校長）教室間トイレのカーテンについては、今後検討し、改善していきたい。災害時における対応については、毎年伊東市役所危機管理課と連携を行っている。伊東分校の児童生徒が登校中は、地域からの避難者は受け

入れないことになっている。ただし、津波からの避難においては、グラウンドに近隣住民が避難するという約束になっている。

- ・（利田氏）小学部の授業を久しぶりに見学した。先生方は、毎日丁寧で細かい指導を行ってくれている。日々の積み重ねが大切だと思う。西小時代は、子ども達の声が響き渡っていたが、旧旭小に移転してきて、今はとても静かである。落ち着いていると感じる。
- ・（福西氏）卒園生たちの様子が見れてうれしい。皆とても落ち着いている。環境に慣れ、上手に生活できていると感じた。掲示物がたくさん飾ってあり、よかった。
- ・（安藤氏）掲示物にあった「せいたん」とは何の意味か？
- ・（校長）「せいたん」とは、生活単元学習の略であり、日々の生活において、体験を通して学習する形態のことである。生活単元学習の中に、国語の学習内容や、数学や理科、社会、外国語活動の学習内容が含まれている。

（３）学校運営協議会及び学校関係者評価委員会等について

２月に行われる第４回の学校運営協議会は、学校評価者委員会として開催することと、１年間の学校の取組を皆様に説明をして、学校関係者評価委員会として評価をいただきたいと説明を行った。

（４）コンプライアンス（法令順守）の取組について

副校長より、令和７年度の不祥事根絶研修について説明を行った。特に質問はなく、承認された。

最後に校長よりお礼のあいさつを申し上げて閉会となった。